

1 「もしも…」の時のためにみんなで考えておこうでい！～自然災害に備えて～

皆さんは「もし地震が起きたら……，もし津波が来たら……」と考えたことはありますか？奄美はそれ程地震が多くないイメージがありますが，西日本では和歌山市の次に，有感地震（体に感じる地震）が多い場所であり，地震活動が大変活発な場所であると言えます。



このような場所に生活する私たちですが，何人の人が「もしも……」の時のために準備をしているのでしょうか？

実は，地震や津波，洪水，火災などの災害に直面したときに，すぐに避難ができる人は大変少ないと言われています。現代の人々は安全・便利に慣れてしまった結果，自然災害等による命の危険というものを全く想像することができず，災害等の危機にしっかりと対処できないと考えられています。これを専門的な言葉で「正常化の偏見」または「正常性バイアス」と言います。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では，津波で多くの人の命が奪われましたが，地震発生後に津波が来ることを意識した人は 60%で，避難場所に避難しようとした人は，わずか 40%程度だったそうです。（東日本大震災時の地震・津波避難に関する住民アンケート〔内閣府，平成 24 年 12 月〕）昔から地震や津波が多い東北地方に住む人たちでさえ，「これまでの地震でも大きな津波は来なかったから大丈夫だ。」と考えてしまったのです。



奄美でも過去に大きな地震が起こっており，今後絶対に起こらないと言い切ることはできません。是非，このノートを使って次のような事を友だちや先生，家族と考えて欲しいと思います。

自然災害が**発生する前に**，何をしてあげばよいか？

自然災害が**発生したら**，何をすればよいか？

自然災害が**発生した後に**，(いつもの生活に戻るまでに) 何をしたらよいか？



2 奄美の自然災害を考えてみよう！

自然災害に備えるためには、まず奄美で起こる可能性がある災害について知っておく必要があります。そして、それぞれの災害に応じて準備をしたり、行動したりすることが大切です。奄美で発生した（あるいは、これから発生しそうな）自然災害についてあらためて確認してみましょう。

チェック

奄美では、これまでにどんな自然災害(被害)が発生したか、またこれからどんな自然災害(被害)が発生しそうかを考えてみよう!!

これまで発生した自然災害やこれから発生しそうな災害	予想される被害
(例) 豪雨災害	(例) 川の氾濫, 土砂崩れ

3 台風のことを考えてみようでい!

チェック

台風が来たらどんなことが起こるだろうか? また, 台風の時はどうのようなことに気を付ければよいだろう?



台風が来ると, 風がとても強くなって, 物が飛んだり, 木が倒れたりするよね! 雨も降るよ!!



台風の時, 風速数十メートルの風が吹きます。平成 26 年 10 月に来た台風 18 号でも最大瞬間風速 39.1 メートルの風が吹いています。

風の強さ, 怖さを分かりやすくイメージしてもらうために, ある実験を紹介します。



京都大学防災研究所で, 毎秒 49 メートル (およそ時速 176 キロメートル) の速度の風で, サングラ, ペットボトル, ビニール傘, 週刊誌 (2 冊) を飛ばす実験をしました。



サンダルの重さはわずか 275 グラムですが, 風によってぶつかる時は約 40 キロの力がかかります。ペットボトルやビニール傘でもガラスは割れました。また驚くことに, 濡れた週刊誌 (2 冊) でもガラスは粉々にくだけました!!

台風の時はどうのようなことに気を付けたらよいですか?



4 大雨・土砂災害のことを考えてみよう!

チェック

梅雨や台風の時期に、奄美では数日にわたり、雨が降ることがあります。雨が長く続く時は、どのようなことに注意すればよいだろう?



平成 22 年 10 月の奄美豪雨災害では、多くの場所が水につかったね。悲しいことに、死者も出たんだよ……。



雨が長く続く時は、どのような被害が予想されるかな?

予想される被害を書き出してみよう。



平成 22 年 10 月の豪雨災害では、集落が水につかる前に「特に何もしなかった。」と回答した人が奄美市全体で 30% ほどいたんだよ。そして、集落が水につかり出したことを知った後も、「何もしなかった。」という人がかなり多くいたんだ。



雨が長く続く時は、どのような事に注意して行動すればよいだろう?

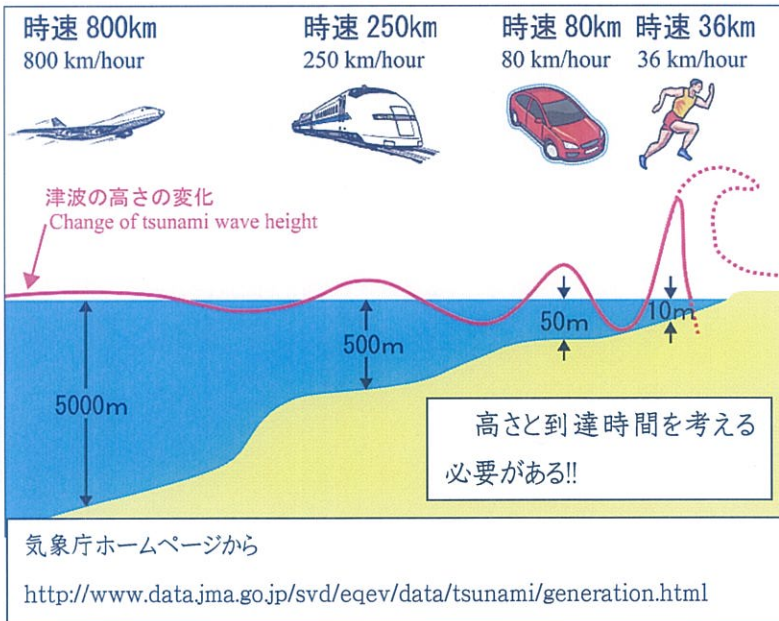


チェック ✓

奄美でも「震度6弱～6強」の地震と大津波警報の発令が想定されています。地震が発生した場合には、どのような行動が必要だろう？



東日本大震災の時は、津波に少し触れただけで、倒れてしまい、命を失った人が多くいたんだ。



津波は、海岸にうちよせる普通の波とは全く違い、猛スピードでやってくるんだよ。とても強いエネルギーをもっているんだ。そして1回だけではなく、2回、3回と繰り返し、海岸に近付くにつれて急激に高い波になるんだ。ちなみに、名瀬港のフェリー乗り場の深さは10メートルだから、時速36キロメートル、つまり1秒間に10メートルの速さの津波が、港にやってくる可能性があるということだね。



地震の時に気を付けることは、津波だけかな？他に気を付けないといけないことはない？

津波以外に気を付けることは？



津波注意報や警報が発令されたらどんな行動をすればよいだろうか？

